

旧森江家住宅



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	きゅうもりえけじゅうたく
所在地	鏡野町富西谷
指定年月日	昭和44年6月20日
解説	17世紀後半ごろの建築と推定されている、岡山県下では最も古い山村の中型農家。現在は富振興センター近くに移築されている。桁行7間(15.8m)、梁間3間(7.4m)の茅葺寄棟造。平面形式は「三間取り広間型」で、土間に沿って上手は梁行いっぱい居間とその奥の座敷及び寝室の3間があり、土間の下手には「うまや」と「ひや」がある。開口部は表側だけで、他の三方は大壁で囲まれた閉鎖性の強い建物である。構造は、梁間が狭いため上家[じょうや]、下家[げや]の区別が無く、梁行の大梁は一通りだけ掛けられている。
アクセス方法	津山駅から車で45分
公開状況	9:00～16:30, 無料, 内部見学は要連絡 問合せ先: 平日0867-57-2022, 土日0867-57-2111
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	旧森江家住宅
よみかた	きゅうもりえけじゅうたく
しょざいち (所在地)	鏡野町富西谷
していたひ (指定した日)	昭和44年6月20日
せつめい	17世紀後半(せいきこうはん)に建(た)てられた県内(けんない)でもっとも古(ふる)い農家(のうか)の建物(たてもの)です。かやぶきの屋根(やね)で、山村(さんそん)の人々(ひとびと)の生活(せいかつ)を思(おも)い起(お)こさせてくれる建物(たてもの)です。現在(げんざい)は元(もと)の場所(ばしょ)から移築(いちく)されて、公開(こうかい)されています。